

これであなともオペラ通!初めての方も楽しめる、解説つきコンサート

いはらきオペラ通

Vol.29

《ドン・パスクァーレ》

(原語抜粋)

G.ドニゼッティ 作曲

ナビゲーター: 木村孝夫

ソリーナ: 坂口裕子 / ドン・パスクァーレ: 嶋本 晃

エルネスト: 中川正崇 / マラテスタ: 木村孝夫

ピアノ: 掛川歩美

2017

10/3 [火]

15:00開演(14:30開場)

茨木市市民総合センター

クリエイトセンター・センターホール

[全席指定] 1,800円 ◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き

*各会員割引の取扱いは文化振興財団のみです。 ※就学前のお子様はご遠慮ください。

◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055(9:00~17:00) / インターネットチケット www.ibabun.jp

*予約後は1週間以内に下記の子チケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

●クリエイトセンター1階チケットカウンター(9:00~17:00) ●福祉文化会館3階チケットカウンター(9:00~17:00)

*インターネット予約については、コンビニ(セブンイレブン、サークルK、サンクス)でご精算・受取いただけます。(要手数料108円)

◆その他プレイガイド[7/6(木)店頭販売あり 10:00~]

ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応)・Lコード予約 0570-084-005(Lコード:52792)・<http://l-tike.com/>

*ローソンチケットの取扱いチケットはローソン、ミニストップ各店舗で直接購入できます。

◆主催: (公財)茨木市文化振興財団 / 茨木市音楽芸術協会 ◆後援: 茨木商工会議所 / 茨木市観光協会

5回来場された方へは素敵なプレゼント!! 詳細は会場にて。

**7月6日(木)9:00
予約開始!**

財団の発売初日はインターネット、
電話予約のみです。残席がある場合
は翌日から窓口販売いたします。

四 西 か ら

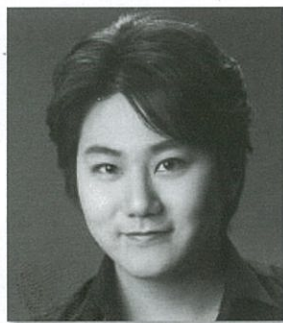
文化力
POWER OF
CULTURE



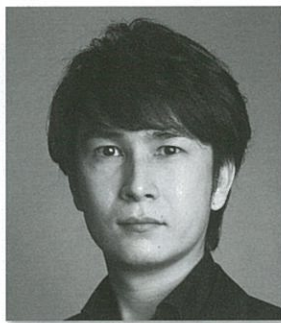
ノリーナ
坂口裕子



ドン・パスクァーレ
嶋本 晃



エルネスト
中川正崇



マラテスタ/ナビゲーター
木村孝夫



ピアノ
掛川歩美

★ものがたり・・・

【第1幕】

70歳になるまで独身を通してきた金持ちのドン・パスクァーレは、甥のエルネストを良家の娘と結婚させた上で、彼に全財産を継がせようと考えていた。しかしエルネストは若く美しい未亡人のノリーナに夢中で、伯父の進める縁談には見向きもしない。業を煮やしたパスクァーレは「自分が結婚をして跡取りを作り、その子に財産をすべて継がせる」と、主治医であるマラテスタに花嫁探しを依頼したのである。

しかしマラテスタはパスクァーレの主治医であると同時に、エルネストの親友でもある。マラテスタは親友の恋を後押ししようとい計を案ずる。その案とは、まずノリーナが彼の妹、ソフロニアになりすまして、パスクァーレの偽の花嫁になる。婚姻届にサインをしたとたん、彼女がわがまま放題な女に豹変し、パスクァーレを困惑させ、「こんな事になるならエルネストとノリーナが結婚してくれた方がマシだ」と思わせて、パスクァーレに二人の結婚を認めさせようというもの。

マラテスタは言葉巧みに妹を花嫁に勧め、パスクァーレはすぐにその気になる。パスクァーレはエルネストを呼んで「わしが結婚する。お前に財産は継がせない。出て行け!」と宣言する。

ところ変わって、ノリーナの家にはマラテスタがやって来て、今回の計画を彼女に説明する。ノリーナは「任せておいて!」と胸を張る。

【第2幕】

今回の出来事が自分のために立てられた作戦であることなど露知らぬエルネストは我が身に突然降りかかった不幸を嘆いている。

パスクァーレのところに、妹のソフロニア(扮装したノリーナ)を連れたマラテスタが現れる。ソフロニアの清楚で慎み深い様子にパスクァーレは舞い上がり、すぐに結婚の準備が行われる。そこにエルネストが伯父に別れを告げにやってくる。伯父と結婚しようとしているのが愛するノリーナであることに驚く。すかさずマラテスタが「これは芝居だ」と耳打ちして、エルネストはすぐに状況を飲み込む。

パスクァーレが婚姻のサインをした途端、ソフロニアは豹変して、あれやこれやと注文を付け始める。思わぬ事の成り行きにパスクァーレは啞然とするばかり。その様子にあとの三人は「してやったり!」と大喜びする。

【第3幕】

部屋中のどこもかしこも新妻の洋服や帽子、アクセサリ、靴などが散乱している。頭を抱えるパスクァーレにソフロニアは「劇場に行く」と言い、出かける。すると、そこにはソフロニアが落とした手紙が。読んでみると「今夜9時から10時の間に庭でお待ちしております。あなたを愛する者より」と書かれている。パスクァーレはすでに後悔しはじめ、マラテスタに「こんなことならノリーナとエルネストを結婚させておけばよかった」と愚痴る。マラテスタは「ならば、私たちがその密会現場を押さえて、妹をこの家から追い出しましょう」と提案する。

庭ではエルネストが、ノリーナを想ってセレナーデを歌っている。そこにソフロニア(ノリーナ)が現れ、二人は愛を語り合う。そこへパスクァーレが現れ、ソフロニアに怒りをぶつけるが彼女はとぼけるばかりで埒があかない。そこでマラテスタが彼女に「明日、エルネストの花嫁としてノリーナがやってくることになった」と言うので、彼女は「他の女と同居するなんてまっぴらだわ」と家から出て行くことを了承する。ここでもう一押しと、マラテスタはパスクァーレに向かって「妹を確実に追い出すためには、今すぐエルネストとノリーナを結婚させたほうがいい」と助言する。パスクァーレはそれを了承し、エルネストにノリーナを連れてくるように言う。ここでマラテスタは「ノリーナはここにいる、彼女がノリーナです」とノリーナがソフロニアを演じていた事を明かす。パスクァーレは自分が彼らに騙されていた事を怒るが、寛大な心で彼らを赦して、若い二人の結婚を祝福する。

◆チケットのお申込み・お問合せ

(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055(9:00~17:00)/インターネットチケット www.ibabun.jp

*財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。お席のご指定もうかがいます。座席表をご用意いただくと便利です。

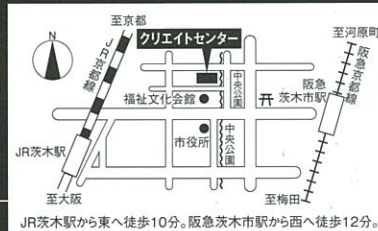
*予約後は、1週間以内にクリエイトセンター及び福祉文化会館チケットカウンターでご精算ください。

*インターネット予約については、コンビニ(セブンイレブン、サークルK、サンクス)でご精算・受取いただけます。(要手数料108円)

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送手数料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」で

お支払いください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。

(払込口座)00970-7-190576/加入者名:茨木市文化振興財団



◆クリエイトセンター(茨木市市民総合センター)茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726